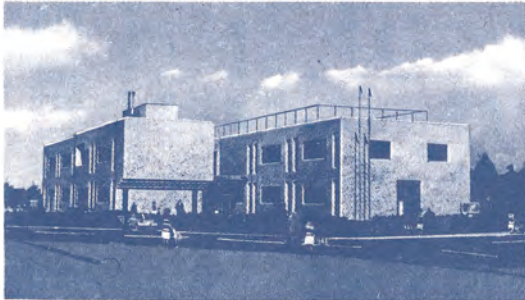


足立区議会だより

No.46

足立区議会事務局 ☎ (882) 1111



◀保健センター(仮称)完成予想図

▼国民健康保険保養所(仮称)完成予想図



議長 副議長 就任のごあいさつ

私たちは、このたび議員多数のご推挙により議長、副議長に就任いたしました。

微力ではありますが区議会の円満な運営と区政の推進に努力いたします。

さて、長期低迷傾向を示している経済不況は、大企業をも倒産に至らしめており強力な財政、金融面からの対策がのぞまれるところ

です。



議長 直 古 性は、区財政に少なからぬ影響を及ぼし、さらには、中小



副議長 市蔵 茂出木 零細企業に与える影響は大きく早急な救済策が必要であると考

えられます。

区議会としても、かかる状況を十分は握し、議員各位と一致協力して人間本位の生活環境の整備と区民福祉優先の基本姿勢にたつて、区政の進展に取り組む所存であります。

今後とも、区政に対しご理解、ご協力を賜りますようお願いして、就任のごあいさついたします。



第2回定例会

正・副議長改選される

昭和52年第2回足立区議会定例会は、6月1日に開会し、会期45日間で7月15日閉会しました。

この定例会には、28件の工事請負契約を中心とした区長提出議案39件、議員提出議案1件が提出され区民からの請願・陳情56件とともに審議されました。

第1日(6月1日)

区長の提案説明ののち、監査委員鈴木又右衛門氏から昭和51年度定期事務監査の結果について報告がありました。つづいて代表質問を4議員が行いました。

第2日(6月2日)

前日に続き4議員が代表質問、一般質問を行ったのち、区長提出議案および請願・陳情が各所管委員会に付託されました。

第3日(6月9日)

区長提出議案の提案説明があり、所管委員会に付託されました。

第4日(6月16日)

休会中、各委員会で審査されていた区長提出議案38件が採決されすべて審査結果どおり可決しました。

また区民から提出された請願・陳情は、8ページのとおり決定しました。

第5日(7月15日)

冒頭、安達正典議長、森信雄副議長の辞職に伴い選挙が行われ新議長に古性直議員、新副議長に茂出木市蔵議員が選出されました。つづいて運営委員会委員が提案者とな

可決したおもな議案

東京都足立区立児童館条例の一部を改正する条例

大谷田、加平、西保木間の3児童館を開設するものです。

東京都足立区立老人館条例の一部を改正する条例

東京都足立区立大谷田老人館(大谷田1-1-2-101)を開設するものです。

財産の取得

大谷田公団住宅(大谷田一丁目250番地1)の開設に当り、建造物の一部を区施設として取得するもので、取得目的を紹

つた「千住新橋架け替え工事促進に関する意見書」(提案説明者中川外行副委員長(社))が提案され、全会一致で原案どおり可決されました。

次に各常任委員会委員の任期満了、各特別委員会委員の辞任に伴う新委員の選任が行われました。(7ページに掲載)

最後に井上市三郎議員、宮原進議員の監査委員退職に伴い区長より藤来勇議員、永島安三議員の選任同意が求められ、いずれも賛成多数で同意されました。

次に、議会推薦農業委員の浅田良作議員、小久保雅捷議員、須賀寿雄議員が退職したのに伴い、あらたに川崎忠次郎議員、しなし清治議員、飯田豊彦議員を推薦することに決定しました。

介します。

- 1 足立区立大谷田児童館用建物
- 2 足立区立大谷田老人館用建物

契 約 議 案

第2回定例会で可決した契約議案のうちおもなものを①契約金額②契約の相手方③工期に分けて紹介します。契約方法は、指名競争入札です。

足立区立二丁目・三丁目付近下水道

- 枝線その三工事請負契約
- ①1億300万円②大昌建設(株)③昭和53年2月18日まで

足立区梅田五丁目・八丁目付近下水道

- 枝線工事請負契約
- ①2億6,000万円②大日本土木(株)東京支

〈表紙の写真〉

今年度の新規事業として国民健康保険保養所(仮称) 〓静岡県伊東市八幡野字牛背戸1,030、保健センター(仮称) 〓伊興町前沼1,1571,030の6,の2施設が建設されます。

店③昭和53年3月31日まで

足立区青井一丁目付近下水道枝線工事

- 請負契約
- ①1億4,800万円②森川建設(株)③昭和53年2月18日まで

水路改修工事請負契約(舍人三丁目先)

- ①1億4,350万円②金澤建設(株)③昭和53年2月18日まで
- 足立区梅田四丁目・五丁目付近下水道

枝線その二工事請負契約

- ①1億2,000万円②足立建設工業(株)③昭和53年2月13日まで
- 足立区梅島三丁目付近下水道枝線その

三工事請負契約

- ①1億6,000万円②日新建設(株)③昭和53年2月6日まで
- 区立栗原西児童館・老人館(仮称)新

築工事請負契約

- ①9,380万円②清成建設(株)③昭和53年1月25日まで
- 区立小台児童館・老人館(仮称)新築

工事請負契約

- ①8,700万円②服部建設(株)③昭和53年1月12日まで
- 足立区保健センター(仮称)新築工事

請負契約

- ①2億4,000万円②森川建設(株)③昭和53

意見のわかれた議案など

議案	金派名					結果
	自民党	公明党	共産党	社会党	民声クラブ	
議員の地方都市議会連合調査について(視察)	○	○	×	○	○	○
足立区議会議員藤米勇氏の監査委員選任同意について	○	○	×	○	○	○
足立区議会議員水島安三氏の監査委員選任同意について	×	×	×	○	○	×
注	○ 賛成	×	反対			

- 年5月2日まで
足立区国民健康保険保養所(仮称)建設工事請負契約
①2億7,000万円②鉄建建設(株) 建築支店
③昭和53年3月31日まで
- 区立桑袋小学校増築工事請負契約
①300万円②(株)三浦工務店③昭和53年2月25日まで
- 区立本木保育園建設工事請負契約
①9,600万円②(株)田中貞治工務店③昭和53年3月10日まで
- 足立区梅田七丁目付近下水道枝線工事請負契約
①2億9,900万円②金澤建設(株)③昭和53年3月14日まで
- 足立区梅田五丁目付近下水道枝線その三工事請負契約
①1億7,870万円②堀真建設(株)③昭和53年3月14日まで
- 区立入谷小学校増築工事請負契約
①8,850万円②大東建設工業(株)③昭和53年3月10日まで
- 区立東加平小学校増築工事請負契約
①6,500万円②小勝工務店(株)③昭和53年3月10日まで

- ①1億7,900万円②宇田川建設工事(株)③昭和53年3月10日まで
- 区立東綾瀬中学校増築工事請負契約
①1億200万円②田中建設工業(株)③昭和53年3月10日まで
- 区立西新井中学校増築工事請負契約
①1億6,000万円②白谷建設(株)③昭和53年3月10日まで
- 区立古千谷中学校(仮称)新築工事請負契約
①5億3,500万円②堀真建設(株)③昭和53年3月15日まで
- 区立花畑北中学校(仮称)新築工事請負契約
①3億9,000万円②則本建設(株)③昭和53年3月15日まで
- 総合体育館(仮称)新築工事請負契約
①13億8,000万円②清水・金澤建設共同企業体③昭和53年12月18日まで
- 総合体育館(仮称)新築電気設備工事請負契約
①2億1,000万円②大栄・鈴木建設共同企業体③昭和54年1月17日まで
- 特別区道路線の認定
足立区舎人三・四丁目地内延長376・30m
特別区道路線の廃止
足立区宮城二丁目地内延長114・09m

意見書・要望書要旨

千住新橋架け替え工事促進に関する意見書



架け替えのまたれる千住新橋

足立区は、首都東北部の玄関口として交通量の増大は、近年、ますます著しく区内を東西に貫流する荒川にかかる千住新橋、西新井橋、扇大橋、江北橋とも渋滞がなほだしい。

とりわけ国道4号線にかかる千住新橋付近の混雑はまさに飽和状態の観を呈している。

ている。そのため区民の足であるバス運行が圧迫され、あるいは路線廃止等住民の通勤、通学事情を悪化させ、また、騒音激化により付近住民へ迷惑を及ぼしている。

したがって、交通渋滞緩和対策上、かねてから、千住新橋架け替え促進について要望を重ねてきたところである。

建設省においては、上り線橋りょう完成後、ただちに下り線橋りょう建設工事に着手し、2年余遅延をきたしているこの工事を当初計画案通り施工するよう重ねて強く要請する。

都道49号線の早期全面供用開始に関する要望書

北区志茂5丁目から足立区千住曙町間(荒川右岸中段道路)を走る都道49号線を早期に供用開始されたい。

千住新橋右岸取付け道路の交通規制に関する要望書

千住新橋近隣関連道路の交通規制は、地域住民と事前に協議されたい。

以上について、関係機関に要望した。

代表質問

自民党

悪平等主義のはんらんを区長はどう考えるか

【問】昨今の世情は、公共の福祉を差し置いて、とかく弱者の意見を重要視したり、平均的な物の考え方が正しいとす

る風潮がはんらんしている。これらのことが、ひいては地域エゴとなつて行政執行をはばんでいないか。弱者の声をき、ながらも、公共の福祉を優先し行政執行する考えはないか。

【答】や、もすると弱者に便乗して要求が強まるが、行政執行に当っては、法に照し「究極は住民の福祉につながる」と

の判断のもとに区の姿勢をくさず執行している。

堤北地域の交通網を拡充せよ

【問】本区の西北部、東北部などは、区内にあって陸の孤島といわれる地域であり、堤南地区に比し各面に格差がある。特に、建設される公共施設の有効利用をはかるためにも、区民の足となる公共交通機関の拡充が急がれる。

そこで、いずれ完成をみる総合体育館、森林公園等を利用するための循環モノレールの建設を促進する考えはないか。

【答】区民の利便をはかるうえから地下鉄8号線(池袋)亀有間)の早期完成、放射11号線下の地下鉄誘致およびバス路線の新設方については強力に働きかけをしている。なお、モノレールについては経費の関係で困難であるので、別の輸送機関を考えたい。



【問】本区でも土地の細分化が進み、新たな住宅密集地を出現させている。土地の有効利用とはいえないこのま、放置すれば、いずれ野放図な住宅密集地区ができ、多くの問題を新たに発生させると考える。区長の防止対策を問う。

【答】開発規制は、1,000㎡以上でないと適用地でないことになっており、それ以下

は土地所有者の協力を得るといふ消極的なものになっている。しかしながら、防災、緑化対策上からも重要な問題であるので、協力方について更に努力したい。

荒川河川敷の有効利用をはかれ

【問】区は、荒川河川敷を避難広場はもとより、区民生活に利益をもたらすものとして積極的に再開発する考えはないか。

【答】区が、河川敷を利用して収益をあげる施設を造ることはできない。しかし関係当局と協議し野球場、つり堀等の施設を造るべく努力したい。

新規に臨海施設を建設せよ

【問】区は、先に日光、山中湖畔、上総漆に林間、臨海施設を設置し、児童、生徒の校外授業の充実をはかってきた。子供を健全に育成するためのこれら施設の拡充は、不可欠であり父母の願いである。そこで、林間施設の拡充とあいまって養護、臨海併用の恒久的な施設を新たに建設する考えはないか。

【答】新たな施設建設については、教育委員会と協議のうえ、社会教育にも活用できる施設を検討したい。

区内小・中学校における国旗(日)

【問】昨年、議会で「国旗(日の丸)国歌(君が代)の制度化に関する意見書」



が可決されたが、その後、区内小・中学校に対してどのような指導をしたか。

【答】教育活動については、文部省の学習指導要領に基づき各学校ごとの教育課程の編成により、教科を突せんしている。

「日の丸掲揚、君が代斉唱」の実施については、指導要領に基づき校長会等を通し趣旨の徹底をはかっている。

【問】区民福祉センター等を公設民営にせよ

【問】区民福祉センター、保育園等の充実とはうらはらに、今後、その運営経費はますます増大するものと考える。経費節減からも運営については、外部団体等に委託する考えはないか。



【答】保育園の公設民営については、本区にあった方策を検討中である。

【問】施設建設に当たっては、当然、将来の人口を予測し計画をたてたと考える。しかし、計画立案後、はや6年経過し情勢も変化した。区長の考え方を示せ。

【答】当初計画(昭和46年計画)は、区人口を昭和60年に人口80万人と予測し計

画立案した。しかし、経済情勢等も大きく変化したので、当初の予測人口を70万人に修正し計画を進めたい。

【問】千住新橋架け替え工事に伴う取り付け道路の建設に当って、建設省は、地元の要望として計画変更を行った。しかし、直接影響を受ける住民への周知が不徹底のため工事は遅れている。区は、計画変更はどう対処したか。

【答】地元の要望で計画変更されたが、国から相談された時点では、区は防災、交通対策上からもサービス道路はある方がのぞましいと考えた。その際、交通規制には、十分配慮する必要がある。

【問】区長は、日中平和友好条約の締結促進を区長会において提案し、国に要望書を出す考えはないか。

【答】区から出すのはよろしいかもしれぬが区長会に提案し、区長会で要望書を出すことは、政治的意味が強く不適当ではないかと考える。もう少し検討したい。

【問】花畑・保木間地域に循環バス路線を誘致せよ

【問】花畑・保木間・六町を含む当区の北東地域は、最も交通の不便な地域の一つである。この解消のため竹の塚駅を中心として同地域を循環するバス路線を設

公明党

早期締結を要望せよ

【問】区長は、日中平和友好条約の締結促進を区長会において提案し、国に要望書を出す考えはないか。

【答】区から出すのはよろしいかもしれぬが区長会に提案し、区長会で要望書を出すことは、政治的意味が強く不適当ではないかと考える。もう少し検討したい。

【問】花畑・保木間・六町を含む当区の北東地域は、最も交通の不便な地域の一つである。この解消のため竹の塚駅を中心として同地域を循環するバス路線を設

置するよう東武バスに強く要望せよ。
 【答】同地域は、交通不便な地域であり総合体育館も建設される。東武バスに循環バス路線設置を強く要望したい。

児童に安全帽を配布せよ

【問】児童を交通禍から守るためには、ドライバークの眼につきやすい黄色の安全帽をかぶらせることが有効である。全児童に安全帽を支給せよ。

【答】新入学児童

へのお祝いあるいは2年生までの低学年には、配布してもよいと考える。全児童への配布は困難だ。

小、中学生の視

力向上のために「中国

国式眼の体操」をとりいれよ

【問】当区の調査実態からみて小・中学生の視力減退がはなはだしい。「中国式眼の体操」は、児童・生徒の視力向上に効果がある。これを当区にとり入れよ。

【答】当区の小中学生の視力調査については、ご指摘のとおりであり憂慮すべきことである。「中国式眼の体操」については、学校医はじめ関係者間で協議を行っていただいている。十分検討して取り組みたい。

非行化防止対策映画をつくれ

【問】シンナー、トルエン等が少年の身体をむしばみ、非行化を助長するものとな



っている。これらのおよぼす害の恐しさを知らせ青少年の健全育成をはかるための映画、スライド等を区独自で作製し、学校教育の場でも有効に活用せよ。

【答】区独自でつくるよりも文部省、警視庁等のよいフィルムがあるのをそれを借用あるいは購入して活用したい。

有効な精神障害者対策を実施せよ



【問】精神障害者の社会復帰を助け、家族を援助するため次の5項目を実施せよ。
 ①家族会への助成金増額 ②在宅患者への訪問指導強化 ③専門指導員を置いた職能訓練所設置 ④救急時家族相談窓口設置 ⑤53年度建設予定の保健センターに専門相談室設置。

【答】①活動状況をみて補助することが適当であれば考えたい。②保健婦に精神衛生相談の資格をとらせるため現在講習を行っている。これにより訪問指導の強化をはかりたい。③職能訓練の内容が複雑であり、専門指導員確保の難かしさとも合せて区では対応しきれぬ。都要請したい。④現在、保健所が警察、精神衛生センター等と連絡をとりながら対応している。都府の精神衛生対策委員会で初動体制を検討中でありその結論をまち、本区も対応したい。⑤相談室を設け、相談員を置きたい。

出産党

住民サービス向上のための方策を問う

【問】窓口業務は、地方自治体の顔であり区民が気やすく相談できるものでなくてはならない。住民の立場に立った総合窓口など設置しサービスの向上をはかれ。

また、区の子算は、政治の鏡といわれている。それだけに予算づくりに住民参加を保障し、住民の要求、意見、創意をくみ上げるべきと思うが見解を示せ。

【答】住民が来庁したとき、まごつかないうよう窓口の改善をはかりたい。なお、本庁舎、第2庁舎間にエレファクスを設置し、10月頃から諸証明を発行したい。また、予算編成については、各党からの要望書の中に区民の要望がもりこまれているので、これを土台に編成したい。

新規の福祉事業を具体的に示せ

【問】身体障害者福祉タクシー事業、老人緊急一時保護事業は、いつから、どんな方法で実施するのか。

また、千住5丁目の「幸手屋」買収は未成立ということがあるが現状と見通しについて問う。

【答】福祉タクシーについては、①身体障害者3級以上のもの②330円を月4回補助③タクシー運転者



に一回、100円補助④契約相手、日本個人

タクシー連合会⑤都内のタクシー一万300台を対象に7月から実施したい。また、老人の一時保護事業は、足立新生苑で10月頃から始めたい。

次に、幸手屋買収については、目下交渉中であるが、買収後は老人館等として使用したい。

住民の意見を取りいれて舎人森林公園を建設せよ

【問】公園造りには、都、区の行政機関と議会関係住民などによる「舎人森林公園造成のための協議会」を設け、住民参加の公園造りを進めるよう要望せよ。



【答】区議会と十分協議し、建設促進をはかりたい。

同和事業執行に対し明確な方策を示せ

【問】昭和51年度の同和貸付事業は、部落出身者かどうかの確認ができなことを理由に執行されなかった。

今後、いかなる方法で公正民主的な同和行政を進めるのか。

【答】昨年は、運動体との協議が整わず未執行になった。本年度は、引き続き運動体と協議し、同和事業をどう進めるかを決めた。

同和対象者の確認業務を民間運動体にゆだねているがなぜか。

【問】区は、同和事業の執行に際し、「部落出身者」の確認を解放同盟足立支部にゆだねてきた。民間の運動体に行わせることは誤りであるので、行政の責任で執行せよ。

【答】区としては、議会の決議にのっとり解同、東解連の確認を得て執行したい。公立保育園の建設を急げ

【問】長期計画では、将来100園の保育園建設を区内に計画している。保育需要の増大からも計画を直直し建設を急げ。

【答】昭和52年度は、区立1園、私立2園の建設を予定している。しかし、未措置児があるので、今後は区単独、都住併設、私立を含め年間3・4園建設したい。

社会党

集会所等の整備に
対し援助せよ

【問】町会、自治会の集会所等の建設、老朽化した既存建物の建替え、修理について、その資金の一部を低利融資する制度を設けよ。

【答】区で関与するのは、難かしい。金融機関へのあっせんも団体の性格上困難である。各地区の事情を検討して対策をたてたい。しばらく猶予をいただきたい。都住をもっと区民にひらけ

【問】当区の住宅困窮者救済のため都に對し、次の2項目を要請せよ。①現行の地元割当4割を大幅に引上げること。②空家管理を徹底し、空家抽選も地元区民を優先すること。

【答】①地元割当を引上げるよう働きか

けたい。②空家管理の徹底と空家抽選の地元優先も要請したい。

【問】震災時の避難民対策は万全か
【答】震災時、避難民が広域避難場所にも多数集まる。夜間あるいは雨天の際、どのように処置するのか。また老人、幼児病人等の対策は。

【答】夜間、雨天の際には、避難場所地域の学校等に収容し、10万人程度は一時収容が可能である。また、老人、幼児、病人等は、付近公共施設に収容したい。夜間用設備も整えたい。

【問】母子寮の居住条件を改善せよ
【答】母子寮の居住条件がはなはだ悪く、国の基準の1人2.47㎡(1人当りの寝られる面積)以下ではないか。

【問】母子寮の居住条件を改善せよ
【答】現在基準以下である。改築の時期には、基準に合せたい。4月1日から改正された補助対象基準にも施設改築の時期をまち、合せていきたい。



【問】本区の剣道団体は、足立剣道連盟剣道団体を一本化せよ

足立剣道会の2団体ある。うち、足立剣道会の会員は、他区を通じて昇段審査を受けているが、区内で審査を受けられるよう働きかけよ。また助成措置を講じよ。

【問】昇段審査は、統一されるまで改善は困難である。助成措置については、他体の協未加盟団体とのからみもあり、それをふまえ検討しなければならぬ。以上の問題解決のために両団体統一に一層努力したい。

【問】都から移管された勤労青少年寮に対して、十分な予算措置を約束させよ。

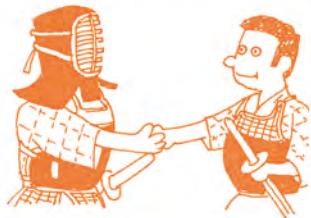
また、運営に当っては、適正家賃、適正入居、社会教育の導入等の改革を徹底し、区民に広くPRせよ。

【問】財政措置については、再三都に申し入れているが実現をみていない。適正利用については、可能な限り行い、その他の点についても検討したい。

【問】駅前再開発予定地の関係者に対し、再開発計画のねらいを浸透させよ。

民声クラブ

勤労青少年寮を適切に管理せよ



【問】各地区再開発計画について、その目的を浸透させる努力をしている。再開発の都施行を要請したが、実現は難かしい。なお実現に努力したい。

【問】今後、区民農園増設のため補正予算を大幅にふやす考えはあるか。

また広場、区民農園のうち3,000㎡をこえるものについては、補助金を増額し、用地提供者にも年間いくらかの謝礼を出せ。

【問】適地があれば9月に予算を計上しふやしたい。

【問】老朽化した都住の改築にあたって次の点について、都に要望せよ。①改築前の戸数にとどめ、増設せぬこと。②避難用広場をかねた公園を付設すること。

【答】①高層化の場合世帯分離による2割程度の増設は、止むを得ないであろう。②十分区の意向をくむよう申し入れる。

また交渉に当っては、住民の意向をふまえて強い態度で臨みたい。

また再開発の公共団体(都)施行をは



足立区議会委員会名簿

昭和52年 7月15日現在

委 員 会 名		委 員 氏 名 (◎委員長 ○副委員長)			
常 任 委 員 会	企画総務委員会 (10名 欠員1名)	◎富沢孝之(自) 清水大蔵(自) 中川外行(社)	○浅田良作(自) 藤波正寿(民ク)	○宮原進(公) 近藤弥之吉(自)	倉持伝次(公) 菅原勲(共)
	区民衛生委員会 (9名 欠員1名)	◎吉田小重郎(公) 島崎義雄(自)	○佐藤英一郎(自) 永島安三(公)	○須賀寿雄(民ク) 古性直(自)	森信雄(自) 立岡正子(共)
	環境建築委員会 (9名)	◎北詰光男(社) 鈴木伸二(社市) 渡辺康信(共)	○白村益治郎(公) 安達正興(自)	○長塩英治(自) 杉山秀雄(自)	川崎忠次郎(自) 小久保雅捷(公)
	厚生福祉委員会 (10名 欠員1名)	◎向後昭三(公) 藤来勇(自) 齋藤八郎(公)	○榊原茂(共) 若月勇(社)	○川下政信(自) しなし清治(自)	鈴木金治郎(自) 五十嵐英生(共)
	土木委員会 (9名 欠員1名)	◎八田正和(公) 茂出木市蔵(自)	○井上市三郎(自) 小野実(共)	○平沢太郎(自) 白石正輝(刷ク)	鈴木次夫(自) 飯田豊彦(公)
	文教委員会 (9名)	◎鈴木進(自) 竹ノ下資夫(公) 神谷康信(自)	○岡安孝明(公) 藤木二幸(自)	○渡辺修次(共) 伊原光一(自)	石川留吉(社) 石川千代子(共)
特 別 委 員 会	区制調査特別委員会 (13名)	◎杉山秀雄(自) 石川留吉(社) 向後昭三(公) 小久保雅捷(公)	○鈴木次夫(自) 榊原茂(共) 岡安孝明(公)	○小野実(共) 鈴木進(自) 須賀寿雄(民ク)	富沢孝之(自) 浅田良作(自) 平沢太郎(自)
	都市計画特別委員会 (14名)	◎菅原勲(共) 佐藤英一郎(自) 藤波正寿(民ク) 中川外行(社)	○鈴木伸二(社市) 白村益治郎(公) 伊原光一(自) 宮原進(公)	○神谷康信(自) しなし清治(自) 八田正和(公)	鈴木金治郎(自) 浅田良作(自) 立岡正子(共)
	災害対策特別委員会 (13名)	◎齋藤八郎(公) 杉山秀雄(自) 菅原勲(共) 川下政信(自)	○森信雄(自) 近藤弥之吉(自) 石川千代子(共)	○藤木二幸(自) 向後昭三(公) 須賀寿雄(民ク)	若月勇(社) 岡安孝明(公) 神谷康信(自)
	交通対策特別委員会 (13名)	◎若月勇(社) 佐藤英一郎(自) 井上市三郎(自) 長塩英治(自)	○竹ノ下資夫(公) 富沢孝之(自) 島崎義雄(自)	○五十嵐英生(共) 白村益治郎(公) 小野実(共)	川崎忠次郎(自) 吉田小重郎(公) 白石正輝(刷ク)
	同和対策特別委員会 (13名)	◎伊原光一(自) 清水大蔵(自) 八田正和(公) 渡辺修次(共)	○倉持伝次(公) 鈴木伸二(社市) 宮原進(公)	○渡辺康信(共) 藤木二幸(自) 平沢太郎(自)	鈴木次夫(自) 安達正興(自) 中川外行(社)
	舎人森林公園対策 特別委員会 (13名)	◎島崎義雄(自) 北詰光男(社) しなし清治(自) 川下政信(自)	○立岡正子(共) 倉持伝次(公) 安達正興(自)	○飯田豊彦(公) 井上市三郎(自) 藤波正寿(民ク)	川崎忠次郎(自) 永島安三(公) 五十嵐英生(共)
	青少年非行化防止対策 特別委員会 (13名)	◎小久保雅捷(公) 清水大蔵(自) 鈴木進(自) 長塩英治(自)	○鈴木金治郎(自) 吉田小重郎(公) 近藤弥之吉(自)	○石川千代子(共) 森信雄(自) 渡辺修次(共)	北詰光男(社) 竹ノ下資夫(公) 白石正輝(刷ク)
運 営 委 員 会 (12名)	◎安達正興(自) 清水大蔵(自) 竹ノ下資夫(公)	○倉持伝次(公) 井上市三郎(自) 八田正和(公)	○渡辺康信(共) 浅田良作(自) 榊原茂(共)	富沢孝之(自) 近藤弥之吉(自) 中川外行(社)	

(自)=自民党、(公)=公明党、(共)=共産党、(社)=社会党、(民ク)=民声クラブ、(社市)=社会市民連合、(刷ク)=区政刷新クラブ



(52・4・1から52・6・16までに審査されたもの)

■採択されたもの

- アサヒベニヤ跡地住宅建設反対
- 環境改善 花畑町195先
- ホテルシャトー 建築反対
- ホテル建設反対 加平2 15先
- 道路上の障害物撤去 千住河原町11先
- ねたきり老人の訪問看護
- 特例保育の充実、公私格差是正、病児子後保育、障害児保育の充実
- 中川北小学区域児童保育室設置促進
- 六木地域周辺児童館等設置
- 街路灯設置 新田1 8先
- 児童公園設置 小菅1 19 4
- 都道49号線の早期開通促進および都道49号線開通時の関連道路交通規制
- 西新井大師周辺車両通行制限
- 不採択となったもの
- 宮内サンハイツ建設中止
- 心身障害者福祉向上
- 保育所増設、病欠産休代替母確保、保育料軽減、無認可保育所助成等
- 歩道橋設置 西新井2 14 10先
- 青年館増設等 本木地域
- (理由) 趣旨にそいかわる。
- 継続審査となったもの
- 一兆円所得税減税実現等要請
- アサヒベニヤ跡地買収要請(公共用地)

- アサヒベニヤ跡地買収要請(工場用地)
- 核兵器完全禁止等
- 鉄道小包便宅配実現
- 高齢者・低所得者の生活上
- アサヒベニヤ跡地公共施設建設促進
- 都住改築 伊興町第3、4都住
- 日ノ出町マンション建設反対
- 高層住宅建設促進 日ノ出町19
- 車庫への通路確保 千住仲町82先
- 日照確保 梅島1 25 18先
- 駅前自転車置き場管理適正化 西新井駅付近



企画総務委視察

- 日ノ出ガレージ跡地利用
- 日雇労働者夏期手当支給
- 失対事業改善要請
- 青井公園内遊具施設設置
- 鷺宿公園内自転車置き場設置
- 区道認定要請 舎人1 15先
- 毛長川架橋建設促進要請
- 用途地域変更 六町1 10先
- 足立堀之内公園存続
- 千住新橋右岸取付工事に伴う補償
- 都道49号線開通前は五丁目側道路を交

通止とす。

○同和行政の公正な事業執行等

青少年非行化防止対策特別委員会

中間報告

青少年非行化防止対策特別委員会中間報告提出される

昭和51年第2回定例会において青少年非行化防止対策特別委員会が設置されました。以来、10回余にわたり関係諸団体の代表者等から実情を聴取し、調査研究が続けられておりましたが、その中間報告書がこのほどまとまり昭和52年第2回定例会最終日(7月15日)に発表されました。

以下は、その要旨です。

- 一、学者、現場教師、区当局によるプロヂェクトチームをつくること等により青少年非行化防止について、長期基本計画を作成する必要がある。
- 一、青少年の健全な育成のためスポーツ施設および遊び場の一層の増設拡充をはかられたい。
- 一、区当局は、地域ぐるみの青少年非行化防止運動をなす一層拡充強化するために努力されたい。
- 一、青少年に対する徳育の徹底、大人の公衆道徳の尊重励行を助長されたい。
- 一、表彰制度を拡充させ、その結果を区民に公表、P・Rされたい。
- 一、子供の心と身体をむしばむようなテ

レビ番組、映画ポスター、週刊誌などについて、その関係機関に対し、自粛の申し入れを行い、またボルノ雑誌自動販売機撤去に一層の努力をはらわれたい。

各 会 派 役 員 (52・8・2現在)

区分	幹事長 (共産党は団長)	副幹事長 (共産党は副団長)
自 民 党 24名	近藤弥之吉	清水大蔵
公 明 党 12名	倉持伝次	浅田良作
共 産 党 8名	渡辺康信	竹ノ下資夫
社 会 党 4名	中川外行	榊原 勲
民声クラブ 2名	藤波正寿	若月 勇
	須賀寿雄	

(他に社会市民連合1名、区政刷新クラブ1名)

区議会だより

編集委員変わる

委員長 鈴木金治郎、副委員長 飯田豊彦、小野実、委員 浅田良作、若月勇、藤波正寿

議員の辞職

今会期中に佐々木弘吉議員が6月28日辞職されました。

つぎの定例区議会は9月に開かれます